


平成25年度スマートコミュニティ構想普及支援事業 成果報告(概要版)

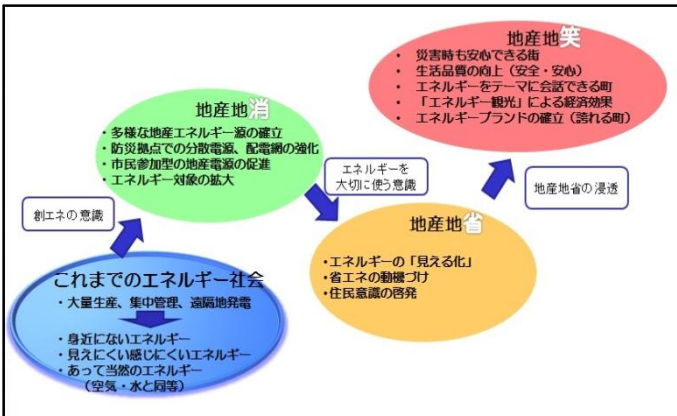
1. 補助事業者名:株式会社MOT総合研究所 株式会社NTTネオメイト 株式会社NTTファシリティーズ
2. 対象地域:山口県岩国市・和木町エリア
3. 補助事業名:民間社宅および市総合庁舎・支所を融合させたエネルギーマネジメントの調査
4. 調査概要および結果

■調査目的
 本調査では、山口県岩国市・和木町を中心としたエリアにおいて、民間社宅・集合住宅でのエネルギーの一般利用と、市総合庁舎・支所等いわゆる事業利用とをベストミックスしたエネルギーマネジメントを調査する。



『地産地省』の事業化
 地域で生み出すエネルギーを、地域で省エネを実行するスマートコミュニティの実現を目指す。

■岩国スマートコミュニティのコンセプト



エネルギーを活用した地域の、地域による、地域のための新しいコミュニティ活性化

① 地産地「消」
 地域で生み出すエネルギーを地域で消費する「地産地消」によりエネルギーを「身近にある」ものにする。

② 地産地「省」
 地産エネルギーを省エネする「地産地省」によってエネルギーを「ありがたいもの」にする。

③ 地産地「笑」
 一部のエネルギーは自分達で作り、自分達で管理し、大切に使うコミュニティを形成する。

■事業化の方向性

地域エネルギー事業者の設立

- ・地域の資本を活用
- ・地域でエネルギーを循環
- ・地域にサービスを提供
- ・地域の人で作る

↓

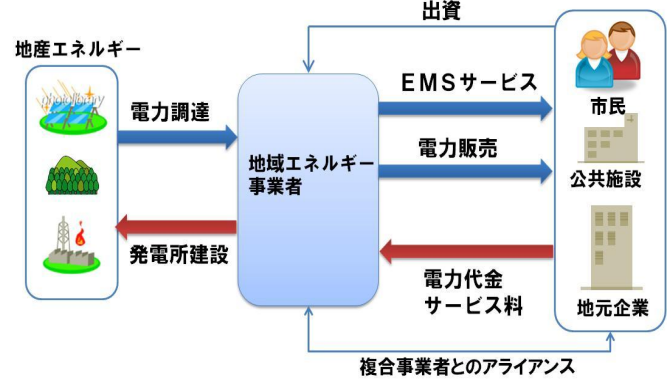
EMS事業

↔

太陽光発電事業

地域エネルギー事業

■地域エネルギー事業者の事業モデル



■事業シミュレーションと考察

市場競争の影響を組み込まない想定でも、雇用創出を前提とした地域エネルギー会社の成立には、大口需要家の確保と高圧市場における一定のシェア確保が必要となるのが事業試算から明らかになる。

ドイツの公共事業体(シュタットベルケ)の事例
 ・複数事業の展開 ・地域経済への貢献

スマートコミュニティの実現には、地域活性化を核とした自治体との協調的なスキームの構築と、地位経済・社会に貢献する事業との複合化によるグランドデザインの検討が重要となる。

■今後の課題

事業	課題
太陽光発電事業	FIT申請中の太陽光発電所の実現性の検討 他発電方式の検討
地域エネルギー事業	需要家の見込み調査 地産エネルギー源の調査
EMS事業	「見える化」「デマンドレスポンス」のサービス仕様の検討
複合化事業	グランドデザインの検討